



本堂全景



中備間斗束・禅宗様棧唐戸



隅棟の小さな反り



向拝本臺股

国宝探訪 NO.40 本山寺本堂 ～南都工匠による中世密教本堂～ 鎌倉時代(1300年) 香川県三豊市

本山寺本堂は、桁行・梁間とも五間で、平面は中世密教本堂の通例通り、正面の奥行二間が外陣、後方中央の三間×二間を内陣としています。寄棟造り本瓦葺の屋根は棟高さも低く、傾斜が緩やかで隅棟の反りが小さいため、温和で古雅な外観を備えています。全体に和様を基調とし、正面の建具は蔀戸で、向拝の臺股は、透彫が施された本臺股、側面は板臺股となっており、中備の間斗束は同巾で古制をとどめています。細部では頭貫の木鼻は猪目を持つ大仏様のもので、禅宗様の大瓶束などや棧唐戸を用い、部分的には新様式の影響も見られる折衷様です。大工は南都の工匠で奈良の雰囲気を漂わせる建造物です。

(写真・文：西嶋 宜久)

3月の活動報告

- 3.10(金) 建築模型作り体験講座(ものづくり体験館)
- 3.23(木) 建築相談(姫路市役所)
- 構造学習会(オンライン)

4月の活動予定

- 4.11(火) 6役会(姫路建設会館)
- 4.20(木) 監事会・理事会(姫路建設会館)
- 4.27(木) 建築相談(姫路市役所)

活動報告 [第10回構造学習会] 3月23日(木)

「はじめての木造耐震等級」(CPD 2単位 / 1回)の第10回目を3月23日(木)にオンライン(ZOOM)にて開催しました。「基礎の計算」という内容で、兵庫確認検査機構の景山先生にわかりやすく解説いただきました。講義途中に講師の設問に対して受講生がチャットで回答するという方法で受講生の出席と受講生の理解度の確認をしています。受講人数は15名でした。欠席された方には、講義ビデオをクラウド上にアップし聴講できるようにしています。今回で2022年度の構造学習会のカリキュラムを無事すべて終了いたしました。次年度の構造学習会は2025年の確認申請における「4号特例縮小」に向けて、意匠設計の方でも構造計算(壁量計算等)がスムーズに行えるようになるため、建築構造に対するハードルを下げるべく、構造力学、材料力学の基礎を10回に渡りわかりやすく解説していきますので乞うご期待ください。

$M_0 = a_1 \times f_t \times x_j$ がいつでも使えるか?

・RC造(スラブ・立上り共)
 $M_0 = a_1 \times f_t \times x_j / 10^6$ (kNm)
 f_t : 鉄筋の許容引張応力度(N/mm²)
 x_j : 応力中心距離(mm)
 d : H-40H: 配筋径、H-50A: 立上り筋径(mm)
 木造の基礎で主筋が1段なら
 $x_j = 0.4 \times (d + 70)$ (mm) としてよい。
 スラブの新断面量は幅1mあたりで行う。

引張鉄筋率の曲げ耐力
 ①一定となる引張鉄筋率
 ②引張鉄筋率の曲げ耐力
 ③引張鉄筋率の曲げ耐力
 ④引張鉄筋率の曲げ耐力
 $pt = at / (b \times d)$: 引張鉄筋率(%)
 引張鉄筋率を入力すると、圧縮コンクリートの耐力が求まる。
 その耐力は引張鉄筋率と引張鉄筋率の積が求められるので注意!

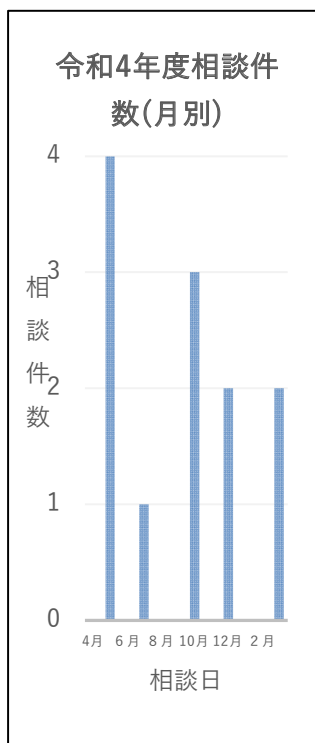


(報告: 構造学習会幹事 石原 弘一)

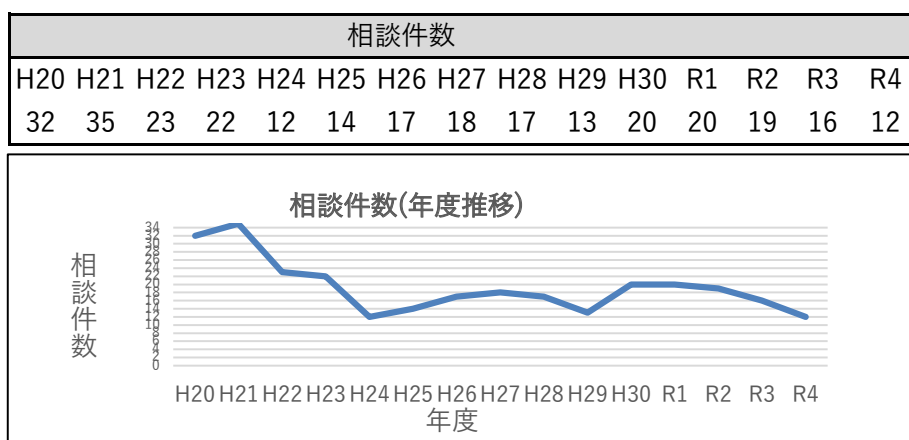
1. 相談内容

相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事前の相談		1					1					1	3
相隣関係				1									1
業者とのトラブル		2					1		1				4
建物の不具合							1					1	2
その他		1							1				2
相談件数	0	4	0	1	0	0	3	0	2	0		2	12
相談担当者	渡邊 上田 西田		小林 吉田		小林 足立		渡邊 吉田 西田		足立 上田		吉田		延 13名

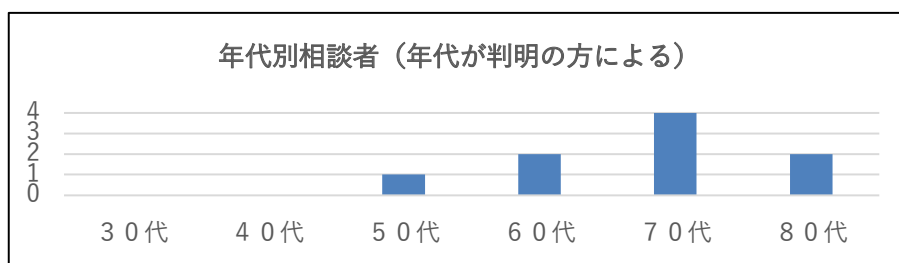
2. 月別推移



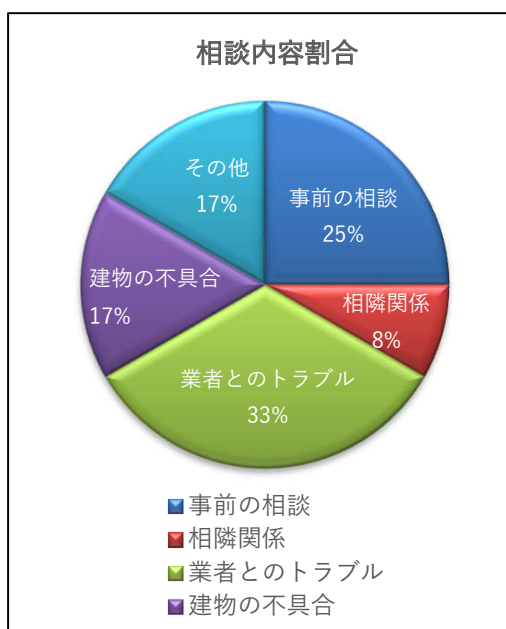
3. 年度別推移



4. 相談者年代



5. 相談内容比率



6. 概評

毎月1回姫路市の市民相談に協力して、相談員6名により実施しています。本年度は延13名の相談員で対応しました。相談は第4木曜13:30~16:30(相談最終は16:00)に開催しています。

令和4年度は相談件数は12件となっており、相談者の人数は0~4人と月によってまちまちでしたが、本年は半数以上の6回が0人という異例の年度となりました。ここ数年では10代後半で推移しています。相談の内容は例年と同様に業者とのトラブルや建物の不具合関係が多くを占めていました。年代別で見ると、比較的高齢の方が多く、相談後に安堵の思いで帰られる姿が多くみられ、この相談会の価値が感じ取れる場面でもありました。

姫路市の要望により、引き続き新年度も継続して相談窓口を設け対応いたします。